

中札内村総合行政推進委員会 第1回まちづくり部会 会議録

日 時 令和8年9月30日（水） 18:30～19:40
場 所 役場庁舎 会議室2
出席委員 荻原精一、鳥倉華以、休場龍、大留雅子、西田匡孝、林衣理奈
佐藤孝志（7名）
欠席委員 歌野毅（1名）
事務局 教育次長 氏家佑介、産業課長 平澤悟、施設課長 北村公明
総務課長 渡辺大輔、総務課長補佐 加藤千晶、総務課主査 重松和希

議 事

（開 会） 18:30

（渡辺課長） 皆様お忙しい中、まちづくり部会に出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は令和7年度に実施した事業の政策評価の結果について、皆さんからご意見を頂きますので、よろしくお願いいたします。
それでは、部会長から挨拶をお願いいたします。

（荻原部会長） 皆さんこんばんは。本日は第1回目のまちづくり部会です。不慣れではありますが、円滑に進行していきたいと思います。

（渡辺課長） これからの議事は、部会長の進行で進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

（荻原部会長） それでは、審議を進めさせていただきます。
審議事項の令和7年度事業に関する政策評価について概要説明を事務局からお願いします。

（加藤補佐） それでは、審議事項の令和7年度事業に関する政策評価について説明いたします。

「政策評価」とは、行政が実施している施策や事務事業について、業務の内容・成果を毎年度点検・検証し、その評価結果を次の政策の立案や推進に活かすことで、政策の質的向上を図るための手法です。

なお、村のまちづくり基本条例において、政策評価を実施し、村民参加による評価を行うことと規定しています。

評価にあたっては3段階で行うこととしており、第一次評価として担当課による事務事業評価、第二次評価として村長・副村長による評価、そして今回、第三次評価として総合行政推進委員会による村民評価を行いまして、それぞれの視点で事業の検証・評価を行っています。なお、第一次評価と第二次評価についてはすでに実施済みです。

(荻原部会長) 政策評価の概要について説明がありました。
続いて、各実施事業の審議を始めて行きたいと思います。進め方について、事務局から説明をお願いします。

(加藤補佐) 本日のまちづくり部会では、教育委員会、産業課、施設課に係る令和7年度事業に関する政策評価について、事前に抽出した6つの節に関して、委員の皆様からご意見をいただきます。
評価書のすべてを説明するとかなりの時間が掛かりますので、1つの節ごとに、各課長等からポイントをしばって評価書の説明をしたのち、1節ごとに、皆さんから意見を伺います。

(荻原部会長) 進め方についてはよろしいでしょうか。

(意見等なし)

それでは、資料で「評価対象」に○が付いている事業について、記載の順番どおり、教育委員会から説明をお願いします。

ー以下、順に担当課長により説明し、質疑応答ー

【P.41 学校教育の推進】

(委員) 小学校の給食費について負担軽減をしていただいていることは大変ありがたいと感じていますが、学校給食のおかずで鶏もも肉が一つだけお皿に置いてあるメニューがあったと聞きました。質の部分は確保されているのでしょうか。

(氏家次長) 量も質も落とさないよう、外国産よりも地場産のものを使うようにしています。日によってバランスが異なることはあるかもしれませんが、メニュー全体では、不足のないようにしています。
先生方からは、他町村と比べると充実しているという評価も聞いています。
栄養士を通じ、子どもたちからも意見を聞きながら献立を考えています。

【P.57 文化・芸術、スポーツの振興】

(委員) 音大の取組について、学校以外に村の景観・美術発展の視点で活用する動きはあるのでしょうか。

(氏家次長) コロナが明け、まず学校での取組を進めてきており、軌道に乗ってきました。地域の方にどう展開していくかがこれからの課題ですが、学生の滞在期間が伸びると費用が増える面もあります。
今年は昭和音大と中中生がコンサートを実施し、150名の方に来ていただきました。今後も村民の方に効果を広げていきたいと考えています。

【P. 61 農業基盤整備と経営支援】

- (委 員) 客土の関係について、現在中島地区で実施しているとのことでしたが右岸地区は対象とならないのでしょうか。
- (北村課長) 村全体を一つのエリアとすると面積が広すぎるので、札内川を挟んで左岸側、右岸側とエリアを分けています。
右岸側の客土については令和 12 年度から新規の道営事業が始まります。
左岸側の土についてはある程度の目途が付きましたが、右岸側は面積が大きく、確保に向けて調整中です。
- (委 員) 左岸側である中島は石が少ない印象です。客土が欲しいのはどちらかというと右岸側だと感じます。今後、事業が始まる際はアンケートなどを取りますか。
- (北村課長) 客土の要望量調査は随時行っていきたいと考えています。その調査結果に応じて検討を進めていきます。
右岸側もなるべく遅くならないよう取組を進めていきたいと思っています。

【P. 74 観光・交流の振興】

- (委 員) 日高山脈国立公園化で登山者は増えたのでしょうか。
- (平澤課長) 登山者は朝が早く、山岳センター開館時間の前に登山されるため、正確な人数は把握できていません。ただ、登山者は増えている認識であり、今後計測方法を検討していきます。
- (委 員) 山岳センターでは熊対策など登山グッズの貸し出しも行われていると広報で見ましたが、山岳センターに立ち寄らなければ効果が薄いように思います。
- (平澤課長) ベテランの登山者は装備もしっかりしていますが、登山初心者が増えている印象です。SNS の活用など登山の装備について周知を検討します。
- (委 員) 村が国立公園化をどこまで活用したいのかが見えてきません。
日高山脈の活用やアピールを考えているのであれば、看板や電柱に表示をするなど、誰もが自然と目に留まる工夫が必要だと思います。山に興味がある方以外にも周知する仕組みを取るべきではないでしょうか。
- (平澤課長) 札内川園地の活用については、指定管理者と協議をしながら様々な取組を実施・検討しています。展示物については、小学生向けにして学習しにきてもらえるような内容を検討しています。
また、日高山脈サポーターズによる札内川園地でのアウトドア体験や、北大の山岳部と協働でのキャンプ事業を行っています。

日高山脈に対する関心を持っていただき、裾野を広げる取組を進めていきたいと考えています。

【P.77 移住・定住の促進】

(委 員) 移住体験住宅はどのような世代の方が利用されていますか。

(北村課長) 3年前から実施している事業ですが、60代以上で退職を迎えた方の利用が半数以上です。子どもがいる家庭は夏休み期間であったり、お仕事をしている現役世代は長期滞在が難しいため、ショートステイの利用となっています。また、季節を変えて利用するリピーターの方もいらっしゃいます。

(委 員) 私も移住サポーターズのメンバーで、参加費を払って入っています。持続可能な組織を目指しているのであれば、予算を付けることはできないのでしょうか。

(北村課長) サポーターズ立ち上げの目的としては、移住者の方が孤立しないよう移住者同士のつながりを作ることでした。当初は頂いた会費でお茶やお菓子を買って交流していましたが、現在はイベントの内容が拡大してきていることもあるので、組織の運営方法について再考したいと思います。

(委 員) 20代で移住したいという知り合いがいます。中札内村は良いという話も聞きましたが、住む場所の情報が無いとのことでした。受け皿が無いと機会損失になってしまうのではないのでしょうか。

(北村課長) 移住を希望される方には、公営住宅や民間の住宅を紹介したりしています。ただ、家を建てたいという人もいらっしゃいますので、活用できる空き家がないか調査などを通じ空き家バンクの登録を促していきたいです。役場で移住相談窓口を設けていますので、お困りのことがあればぜひ一度ご相談いただきたいと思います。

【P91～ 水道・下水道の整備】

―意見無し―

【令和7年度指定管理施設評価票について】

(委 員) 札内川園地の指定管理が更新になるかと思いますが、事業者について色々な話を聞いています。この評価は令和7年度のみの評価なのでしょうか。

(平澤課長) 評価自体は令和7年度のものですが、指定管理者の更新にあたっては改善事項を改善しているか、人員体制を維持できるかなど運営体制を総合的に確認します。

- (委 員) 応募はきているのでしょうか。
- (平澤課長) 現在の事業者のみの応募です。
- (委 員) 交流の杜や体育館について、もう少し利用しやすい環境になるといいと思っています。
交流の杜は合宿優先で、申し込みをしても合宿が入ると一般利用がキャンセルになってしまいます。体育館は土日一般開放のため予約ができません。学校の体育館は村内の子どもがいないと利用できません。交流の杜がキャンセルになった段階で他の施設を案内してもらえるなど、連携がスムーズだとありがたいなと思っています。
- (氏家次長) 交流の杜は中札内高校が閉校になった後、村の活性化を図るため合宿施設にした経緯があり、現在の運用になっています。外のグラウンドは村外の利用が多いですが、交流の杜体育館は床の張替え改修をした効果もあり、村内の方の利用が増えています。わいわいや小中3校の体育館もありますが、管理人の都合上、急な受付が出来ないので、自動施錠の導入や団体に鍵を預けるなど管理方法を検討していきたいと思います。
また、村民体育館は老朽化しており、建て替えには多額の費用がかかります。人口規模からみると体育施設の数が多いため、今後は交流の杜の体育館を村民体育館として使用することを検討しています。
- (委 員) 指定管理者選定委員会はどういう委員会ですか。
- (渡辺課長) 役場職員で組織した委員会です。そこでの評価をここでお示ししています。
- (荻原部会長) それでは、全体を通して何かありますか。
ご意見など無ければ今日の審議はこれで終了したいと思います。
その他、事務局から何かありますか。
- (加藤補佐) 本日は、村民の皆様に直接関わりのある8つの節について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。
政策評価書及び今回の議事録については、発言者の氏名は伏せた状態で、後日、村HPで公開することになっていますので、よろしくお願いします。
次に、次回会議についてお知らせします。次回は全体会議となり、11月上旬に「公共施設利用料の改定」について審議を予定しています。
- (荻原部会長) 以上をもちましてまちづくり部会を終了させていただきます。長時間にわたり大変お疲れ様でした。
- (閉 会) 19:40